A （1）日刊第13210号 平成24年（2012年） 3月17日（土）

市民タイムス

発行所/市民タイムス：本社/〒390－8539松本市大字島立800番地
TEL（0263）/受付47－7777 編集47－7774 広告48－2000 販売47－4755
FAX（0263）/受付48－2422 編集47－1654 広告47－8585 販売48－2422
支社/安曇野・塩尻 支局/長野・木曽

©市民タイムス2012年

身近な風景に温かい視点

ビューポイント 50選マップが完成

市民が薦める安曇野の風景をまとめたビューポイントマップ

安曇野市の安曇野ブランドデザイン会議・安曇野百選プロジェクト（宮崎崇徳リーダー、20人）が、市民が薦める市内のビューポイントをまとめた「私の好きなビューポイントマップ」を作った。五つの総合支所や市中央図書館で配布しており、マップを手に市内散策を楽しんでほしいとしている。

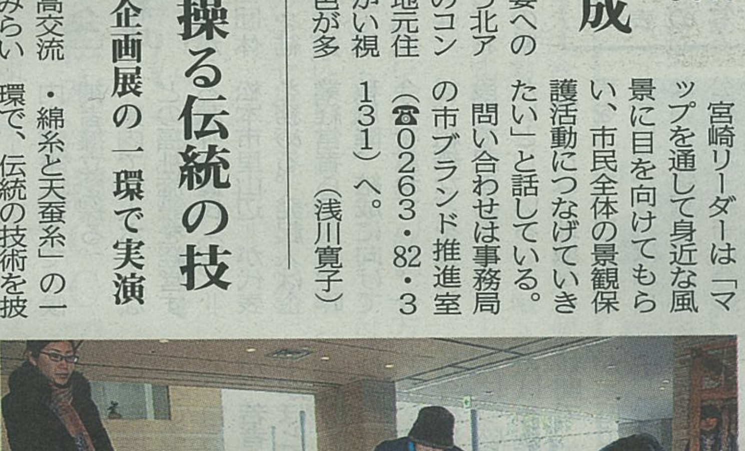
22年の冬から季節ごとに募集したビューポイントと、「水」と「祭り」に特化して募集したビューポイント計318点の中から、季節や地域バランスに配慮して50点を選んだ。三郷地域のリンゴ畑の中で葉摘み作業の合間に一休みする農家の姿や、夫から妻へのプレゼントという北アルプスとソバ畑のコントラストなど、地元住民ならではの温かい視点で選ばれた景色が多い。

宮崎リーダーは「マップを通して身近な風景に目を向けてもらい、市民全体の景観保護活動につなげていきたい」と話している。問い合わせは事務局の市ブランド推進室（☎0263・82・3131）へ。

（浅川寛子）

天蚕糸操る伝統の技

みらい 企画展の一環で実演



糸紡ぎの実演を見る来場者

安曇野市の穂高交流学習センター・みらいで16日、市天蚕振興会（木口和英会長）による糸繰りと糸紡ぎ、機織りの実演が始まった。開催中の企画展「ガラぼうせきと絹のほうせき展―安曇野発・綿糸と天蚕糸」の一環で、伝統の技術を披露している。17日まで。

糸繰りは大渕智恵子さん（81）＝穂高有明、糸紡ぎは伊藤敦子さん（32）＝穂高有明、機織りは望月陸さん（73）＝穂高柏原＝が担当している。大鍋で煮た繭から糸口を探し出し、数本をより合わせる糸繰りの様子を眺めていた主婦・横地美智子さん（70）＝穂高有明＝は「幼いころ家で蚕を飼っており、くず糸で防寒用具を作ったことを思い出した」と懐かしそうに話していた。

17日は午前10時～正午と午後1～4時に開く。20日午前11時半からは天蚕をテーマにした講演と箏の演奏会がある。問い合わせはみらい（☎0263・81・3111）へ。

（浅川寛子）

地域に眠る

宮川さん（右から3人目）を囲んで昔話に花を咲かせる会員

た明科古文書研究会（洞林平会長）が16日、33年間の活動に幕を下ろした。民家などに眠っていた古文書などを読み解き、地域の

研究会は昭和54年、当時の明科町が主催した講座をきっかけに、受講生の有志が設立した。『明科町史』や『東筑摩郡誌』の編さんに携わった郷土史研究家・宮川清治さん（92）＝松本市浅間温

内に残された江戸時代から明治初期にかけての古文書などを解読してきた。

扱った古文書などは300点以上となる。「わらじを履き歩け」をモットーとする宮川さんの案内で、年に2

代9人が活動し、平成21年と22年の明科文化祭では、江戸時代の明科の農民が伊勢参りをした道中記を模造紙にまとめて発表した。昨年は明科や池田町に残された古文書を解読し、弘化4（184

域の歴史を知ることができた。毎回、楽しみに参加した」と話した。宮川さんは「皆、とてもまじめで熱心だった。教えがいがあり、張り合いだった」と惜しんだ。

（細野はるか）

会合・催し

17日

★安曇野伝統植物愛好会展（前10時、市民タイムス安曇野支社・山光ホール、18日も）

★豊科北・豊科東・穂高南・穂高北・穂高西・三郷・堀金・明南・明北小学校卒業式（各小学校）

★結女の会のマクラメ展（前9時、安曇野高橋節郎記念美術館南の蔵、4月8日まで）

★やきもの工房灯「陶の

本日 3月17日
総合レジャーラ
ハロー安
今季営業OP
【釣り堀】野外バーベキ
【おもしろ自転車・汽車】